

仕様書

NEDO新領域・ムーンショット部

1. 件名

NEDO先導研究プログラムにおける成果把握・要因分析調査（2022年度）

2. 目的

NEDOは、2014年度より、我が国の省エネルギー、新エネルギー、CO₂削減等に資する中長期的な課題を解決していくため、2040年以降の実用化に必要となる技術シーズ、特に既存技術の延長とは異なる革新的で有望な技術の原石を発掘し、将来の国家プロジェクト等につなげていくことを目的としたエネルギー・環境新技術先導研究プログラム事業（以下、「先導研究プログラム」という。）を行っている。

これまでに実施した調査では、先導研究プログラムにおいて、過去に実施されたテーマの中に、国家プロジェクトにつながった新たな事例や製品化及び派生技術への展開等につながった成功事例があることが明らかになった。また、経済的・社会的な波及効果に関するCO₂排出削減の定量的評価が可能な数ケースについて算定が試みられた。

本調査では、アンケートやヒアリングを実施し、これまでの調査結果の更新を行うとともに、先導研究プログラムの調査・分析を行い、新たに国家プロジェクトにつながったテーマに対する調査により成功要因・縮小要因等を明らかにする。そして、CO₂削減量等を含む経済的・社会的な波及効果を把握する。また、新たな取組として民間投資誘発状況及び人材育成状況の把握を試みる。これらを通じて先導研究プログラムの有効性の検証及び改善の検討に活用することを目的とする。

3. 業務内容

対象テーマについて、現在の実施状況及び今後の進展等に関してアンケートを実施し、成果の取りまとめを行う。アンケート調査の結果等を基に、成功及び中止・縮小に至ったテーマのうち、代表的なものを選択し、ヒアリング調査により詳細な内容を把握し、事例集を作成する。調査結果や事例集を分析し、今後の課題設定のための情報提供（以下、「RFI」という。）、公募・採択審査プロセス、プロジェクトマネジメントに対する改善案を作成する。

そして、CO₂削減量等を含む経済的・社会的な波及効果に関し、定量的な評価を含む波及効果の状況をまとめる。

また、文献調査等により民間投資誘発効果を把握する手法を検討し、先導研究プログラム実施期間中及び先導研究プログラム終了後の研究開発活動期間中（つながった国家プロジェクト実施期間と民間企業主体の実施期間を整理すること）における研究開発費、人的・物的資源または設備投資等の研究開発費以外の投資状況に関するアンケー

ト、ヒアリング等による調査を実施し、民間投資誘発効果の状況をまとめる。

加えて、先導研究プログラムの利活用を契機とした人材育成状況を調査し、その結果をまとめる。

なお、調査の進め方については必要に応じてNEDOと協議を行うほか、上記の調査結果を報告書にまとめる。

(1) 事前検討

① 波及事例・波及効果の把握手法の検討

波及効果（CO₂排出削減効果を含む）の定量的評価が可能なケースの算定に関し、必要に応じてアンケートへ折り返す等、不足する前提条件の明確化に努めるほか、合理性のある省エネルギー効果の算定方法及び製品の消費エネルギーの推算方法等を検討する。

② 民間投資誘発効果の把握手法の検討

文献調査等により民間投資誘発効果を把握する手法を検討する。先導研究プログラムにおける投入に対する先導研究プログラム実施期間中及び先導研究プログラム終了後の研究開発活動期間中（つながった国家プロジェクト実施期間中を含む）における研究開発費、研究開発活動終了後の人的・物的資源または設備投資等の民間側における自己負担による投資の比率等、民間投資誘発効果を把握する手法や指標について検討し、かかる項目をアンケート及びヒアリングに折り込んで調査する。

(2) アンケート調査

① 対象

2014年度以降に採択され、2022年9月までに事業が終了している先導研究プログラムにおけるテーマ（約260件程度、未踏チャレンジ2050を含む）を対象とする。

なお、これまでの調査で回答済みの対象者については、あらかじめアンケートの回答欄に当該回答内容を入力しておくことにより回答者の負担を軽減するとともに、未回答先の事業者にもリマインドを行うこと等によって回収率をできるだけ高くするよう努めること。また、連名委託先に加え、再委託先ないし共同実施先の状況も揃い取れるよう、アンケートの設問作成等にあたり配慮すること。

② アンケート内容

- ・ 現在の研究開発状況
- ・ プロジェクト化検討状況
- ・ 社会実装の具現化や早期化に必要な支援

- ・ 事業規模、事業期間の妥当性
- ・ 波及事例・波及効果（技術的成果が自身あるいは他者に及ぼした影響やCO₂削減効果への影響）
- ・ 先導研究プログラム実施期間中及び先導研究プログラム終了後の研究開発活動期間中における民間側による投資状況（研究開発費、人的・物的資源または設備投資等の自己負担による投資）
- ・ 人材育成状況
- ・ 制度に対する評価、意見・要望等

研究終了後から経過年毎の国家プロジェクトへの移行の割合や研究費の推移（金額や研究費の負担元）等を調査する。また、ヒアリングによる調査を含め、移行が短期間／長期間となった理由を調査する。そして、これまでの調査で国家プロジェクトにつながっていないが、今回の調査でつながったテーマがあれば、これの事情を調査する。ほか、具体的なアンケート項目については、協議の上決定する。

【短期間での国家プロジェクトへの移行の想定】

- ・ 先導研究プログラムの結果が国家プロジェクトの企画立案に活用されたテーマ

【長期間での国家プロジェクトへの移行の想定】

- ・ 先導研究プログラムの実績によって国家プロジェクトに採択されたテーマ

参考： 添付資料1「昨年度調査のアンケート項目」

(3) ヒアリング調査

① 対象

過去の調査やアンケート調査結果を基に、成功事例／縮小事例等、影響／効果の大きい波及事例等、そして民間投資誘発効果の大きいテーマについてヒアリングを行う。ヒアリングについてはアンケートを実施した事業者だけではなく、当該分野の外部有識者や関係する国家プロジェクト関係者等を含める場合がある。ヒアリング件数の想定としては、計20～30件程度。ヒアリング先選定及びヒアリング項目等については、協議の上決定する。

② ヒアリングする事項

- ・ 現状のステータス詳細
- ・ 成功に結び付くまでの時系列フロー

- ・ プロジェクト内外の関係者とその寄与内容
- ・ プロジェクト実施中、終了後の成功要因
- ・ 実施中や終了後にリスクとなった事項とその回避策
- ・ プロジェクト実施中や終了後に想定したあるいは感知した具体的な波及事例・波及効果
- ・ 先導研究プログラム実施期間中や先導研究プログラム終了後の研究開発活動期間中における自己負担による投資の契機、回収の目論見先 等

アンケートの追加項目を踏まえてヒアリングを行うものとし、具体的なヒアリング項目・内容については、協議の上決定する。

(4) 事例集の内容

アンケート調査及びヒアリングの結果を踏まえ、事例を整理し事例集にまとめる。事例集については、ケーススタディを盛り込むとし、成功事例および縮小事例を整理する。成功事例として、把握した成功要因、必要な支援の内容、社会実装に向けた動き等をまとめるほか、CO₂削減等の成果から得られる経済的・社会的な波及効果及び民間投資誘発効果をまとめる。また、縮小事例として、把握した縮小要因、その他必要事項をまとめる。

事例集をまとめるにあたっては、努めて先導研究プログラムの潜在的応募者を含めた世間一般にもわかりやすい形式でまとめ、情報発信が可能な形とすること。

<事例集に盛り込む内容（例）>

- ・ 成功事例の整理
- ・ 成功事例のケーススタディの作成
- ・ 成功の要因分析
- ・ 今後の進展が見込まれるものについては、それに必要な支援の内容
- ・ 社会実装に向けて類似のあるいは上下流の取り組みを行う事業者の動向等に関する具体的な波及効果や、CO₂の削減に貢献した成果内容や実際のCO₂削減量（または推定削減量）等の波及効果の内容
- ・ 先導研究プログラム実施期間中や先導研究プログラム終了後の研究開発活動期間中における民間投資誘発効果の内容 等

【成功事例の想定】

- ・ 国家プロジェクト化したもの
- ・ 既存プロジェクトの強化につながったもの

- ・ 他省庁のプロジェクト、民間プロジェクトにつながったもの
- ・ 実用化へのステージが進んだもの、実用化したもの
- ・ ベンチャー立ち上げにつながったもの
- ・ 異分野への発展につながったもの
- ・ 顕著な成果を上げたもの
- ・ 今後の進展が見込まれるもの

【縮小事例の想定】

- ・ 中止、中断したもの
- ・ 研究開発ステージが後退したもの

(5) 制度等についての改善提案

より効果的な情報発信や事業運営の遂行につなげるために、上記の調査結果及び過去の調査の事例集をもとに傾向を分析し、RFIや設定課題への公募・採択審査等、現状のプロジェクトマネジメントの状況等と照らし合わせる等、今後の制度やプロジェクトマネジメントに対しての改善案を作成する。

(6) 報告書作成

調査内容を、成果物として報告書（和文）の形に取りまとめる。報告書には、調査結果及びアンケート調査、ヒアリング調査及び各種資料情報等を含めること。なお、行政機関の保有する情報の公開に関する法律が示す不開示情報を含まない内容にまとめた版（以下「公開版」と記す）を追加で作成するものとし、不開示情報の該当箇所はNEDOと協議の上、決定する。

また、納品に際して予めNEDOの確認を受けるものとし、電子メール添付による細部情報の交換のし易さのため、報告書及び報告書に挿入するグラフ、表等の基となる資料については、努めて一般に普及したところのワード、エクセルまたはパワーポイントにより作成すること。

4. 調査期間

NEDOが指定する日から2023年3月31日

調査期間中は、定期的にNEDOと打ち合わせを行い、進捗状況をNEDOに報告すること。

5. 予算額

2000万円以内（税込み）

6. 実施計画書

採択通知後、2週間をめどに実施計画書を提出すること。実施計画書は、NEDOのプロジェクト管理システム（以下、「PMS」とする。）にて提出することとし、仕様書に基づいた実施計画、スケジュール線表、体制表、委託費明細表を記載する。

7. 報告書

12月中をめどに中間報告を行うこと。中間報告には、アンケート及びヒアリングの経過情報、事例集の取りまとめイメージ、波及事例・波及効果の整理の状況を盛り込むこととする。

最終報告書については下記の通りとする。

提出期限： 2022年3月31日

提出方法： 「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」（下記URL）に従って、PDFファイル形式でPMSにて提出すること。

<http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

8. 報告会等の開催

調査事業成果報告会において、成果報告を依頼する。

9. その他

本仕様書に定める事項については、随時NEDOと調整の上実施する。また、本仕様書に定めなき事項については、NEDOと実施者が協議の上で決定することとする。

（参考）スケジュール案（変更可能性あり）

2022年11月	採択決定
2022年11～12月	アンケート
2022年12月～2月	ヒアリング及び並行してケーススタディ作成
2023年1月	中間報告
2023年3月	報告書とりまとめ

以上

【添付資料 1】

昨年度調査のアンケート項目

回答対象者: 全員

Q1

NEDO先導研究プログラム(以下、「本プログラム」という)への応募・採択前と、現在における、研究開発課題の成果の段階について教えてください。応募・採択前と現在それぞれで、最も当てはまるもの1つを選択してください。(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、現在の状況に即して適宜更新いただけます幸いです。

研究開発課題の成果の段階	応募・採択前 ↓	現在 ↓
1. 未着手	<input type="radio"/>	-
2. 研究段階	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 開発段階	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 製品化段階	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 上市段階	<input type="radio"/> (商品等の名称: <input type="text"/>)	<input type="radio"/> (商品等の名称: <input type="text"/>)
6. 中止	-	<input type="radio"/>
7. 中断	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【参考】研究開発段階のイメージ

	活動の内容	アウトプットイメージ
研究段階	基礎的／要素的な研究（現象の新規性や性能の進捗等について把握）。	社内レポート、特許、論文。
開発段階	製品化／上市を視野に入れた開発（開発用サンプルを作成し、ユーザーへのマーケティング調査を行うとともに技術やコストの優位性及び量産化技術等の課題を把握）。	製品化／上市の判断材料となる結果等。
製品化段階	製品化、量産化技術の確立（製品化への社内承認、試作機製造、所管省庁／監督団体による販売承認／検査、製品を市場に投入するための設備投資の実施等）。	顧客評価（認定用）サンプルの作成や量産試作の実施、製造ライン設置、原価計算等。
上市段階	市場での取引。	製品ラインナップ化、継続的な売上発生等。
中止	研究開発活動は停止され、それ以上の開発は行われぬ。	-
中断	研究開発活動は一時的に停止しているが、将来再開する可能性がある。	-

回答対象者: 全員。ただし、現在については、Q1現在において「6 中止」を回答した方以外が対象。

Q2

本プログラムへの応募・採択前と、現在における、研究開発課題に取り組む体制について教えてください。

応募・採択前と現在それぞれで、最も当てはまるもの1つを選択してください。(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、現在の状況に即して適宜更新いただけますと幸いです。

研究開発課題に取り組む体制	応募・採択前	現在
1. 大学・公的研究機関のみ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 産学連携体制(本プログラム実施時より小規模)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 産学連携体制(本プログラム実施時と同程度)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 産学連携体制(本プログラム実施時より大規模)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 企業等のみ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. その他	<input type="radio"/> (具体的に: _____)	<input type="radio"/> (具体的に: _____)

回答対象者: 全員。ただし、現在と今後については、Q1現在において「6 中止」を回答した方以外が対象。

Q3

本プログラムへの応募・採択前と現在、今後目指している、研究開発課題に取り組むための研究開発費について教えてください。下表の具体例を参考にいただき、応募・採択前と現在、今後のそれぞれで、最も主要なもの1つを選択してください。(必須回答)

※複数の提供者がいる場合には、研究開発費の金額が最も大きい提供者を選択してください。

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、現在の状況に即して適宜更新いただけますと幸いです。

研究開発課題に取り組む体制	応募・採択前	現在	今後
1. 大学・公的研究機関が配分等を決定する研究開発費	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 科研費(科学研究費助成事業)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 国・地方公共団体・その他公的機関が配分等を決定する研究開発費(「1 大学・公的研究機関が配分等を決定する研究開発費」「2 科研費」を除く)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 企業等が配分等を決定する研究開発費	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 研究開発費を獲得できていない(獲得する意向はある)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	--
6. 研究開発費を獲得する意向がない	--	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. その他	<input type="radio"/> (具体的に: _____)	<input type="radio"/> (具体的に: _____)	<input type="radio"/> (具体的に: _____)

【参考】具体的なケースと本問の回答例

具体的なケース	本問の回答例と考え方
国立大学組織内で応募し、採択される研究開発費	回答: 「1. 大学・公的研究機関が配分等を決定する研究開発費」 研究開発費のもととなる資金は国かと思いますが、研究開発の実施や資金配分等を最終的に決定するのは大学と考えられます。
都道府県または市町村等地方政府による補助金等の研究開発費	回答: 「3. 国・地方公共団体・その他公的機関が配分等を決定する研究開発費(「1. 大学・公的研究機関が配分等を決定する研究開発費」「2. 科研費」を除く)」 都道府県や市町村等の地方政府は、地方公共団体にあたると考えられます。
企業等組織内の研究開発費	回答: 「4. 企業等が配分等を決定する研究開発費」 研究開発の実施や資金配分等を最終的に決定するのは企業等と考えられます。
公益財団法人の研究助成や寄付による研究開発費	回答: 「4. 企業等が配分等を決定する研究開発費」 本アンケート調査では、公益財団法人は企業等として考えます。万一、研究開発の実施や資金配分等の最終決定を、公益財団法人ではなく国や地方公共団体等が公式に行っている場合には、「3. 国・地方公共団体・その他公的機関の研究開発費」を回答してください。

回答対象者: 全員

Q4

本プログラムがアウトカム指標として掲げている「国家プロジェクト化等の状況」についてお尋ねします。本プログラム終了後から現在までに、本プログラムに関連して受託・実施した(現在、実施期間中のものを含む)国家プロジェクト等の具体的なプロジェクト名と採択年度を全件教えてください。

受託・実施した国家プロジェクトがない場合には、回答欄に「無し」と回答してください。(必須回答)

※国家プロジェクト等とは、国(府省庁、国立研究開発法人等)の資金による研究開発プロジェクトを想定しています。

※国家プロジェクト等に該当するか否かを迷われるプロジェクトは、国家プロジェクト等に含めてください。

※国家プロジェクト名だけでなく、採択年度についても必ずご記入くださいますようお願いいたします。

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

回答対象者: Q1現在において「2 研究段階」～「5 上市段階」を回答した方のみ。

Q5

本プログラム終了後から現在に至るまでに実施した取組みや経緯、次のステップに進む上でターニングポイントになった出来事等について、当てはまるもの全てを選択してください。(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

- 1. 展示会や学会等における研究開発成果の発信
- 2. 本プログラム終了後に国等の研究開発資金を獲得
- 3. 産学連携体制の深化、企業等の資金を主とする企業主導の研究開発に移行
- 4. 産学連携体制の拡充、新たな企業の参画
- 5. 市場ニーズの顕在化、ユーザー企業の顕在化
- 6. 企業・組織内の研究開発投資判断
- 7. その他(※具体的な内容を次の設問にご記載ください)
- 8. 特になし

回答対象者: Q1現在において「2 研究段階」～「5 上市段階」を回答した方のみ。

Q6

前問で挙げていただいた、次のステップに進む上でターニングポイントとなった出来事等について、よろしければ具体的に補足説明いただけますと幸いです。(任意回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

回答対象者: Q1現在において「6 中止」「7 中断」を回答した方のみ。

Q7

現在、研究開発を中断または中止されている理由や、中断または中止に至った経緯について、当てはまるもの全てを選択してください。
(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

- 1. 実用化・事業化に向けた技術的課題が顕在化した
- 2. 実用化・事業化までの期間が長すぎることが分かった
- 3. 本プログラム終了後に国等の研究開発資金を獲得できなかった
- 4. 産学連携体制を解消・解散した
- 5. 市場ニーズやユーザー企業を掴めなかった
- 6. 企業・組織内の研究開発方針が変更・転換された
- 7. その他(※具体的な内容を次の設問にご記載ください)
- 8. 特になし

回答対象者: Q1現在において「6 中止」「7 中断」を回答した方のみ。

Q8

前問で挙げていただいた、研究開発を中断または中止されている理由や、中断または中止に至った経緯について、よろしければ具体的に教えてください。(任意回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

回答対象者: 全員

Q9

本プログラムで研究開発を進めたことで、新たな市場展開の可能性が広がる等、事業計画において当初想定していなかった副次的な成果や効果等がありましたか。当てはまるもの全てを選択してください。(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

- 1. 当初想定していた以上に、技術の応用範囲や汎用性が広いことが明らかになった
- 2. 当初想定していた以上に、実用化・事業化に向けた技術的進展があった
- 3. 当初想定していなかった技術的な機能や性能が発現した
- 4. 当初想定していなかった企業等との産学共同研究に繋がった
- 5. 当初想定していなかった市場ニーズやユーザー企業が顕在化した
- 6. 当初想定していなかった新たな研究テーマの創出に繋がった
- 7. その他(※具体的な内容を次の設問にご記載ください)
- 8. 特になし

Q11

本プログラムでの研究開発の実施中、特に苦勞した点について、当てはまるものを全てを選択してください。(必須回答)

- 1. 当初想定通りに研究開発が進まなかった
- 2. 当初想定よりも経費、人的負担が高くなった
- 3. 共同研究先との役割分担などの調整に手間取った
- 4. NEDOとの研究開発内容や目標の認識の相違があり、調整に手間取った
- 5. 日誌、経費等の日常の委託管理や報告に想定以上の手間がかかった
- 6. 中間報告、中間検査、ステージゲート審査など研究開発以外の作業の手間がかかった
- 7. 次の段階に進むために必要な情報や、アライアンス候補情報の入手が困難だった
- 8. 機密情報の取得、管理、共有、削除など情報セキュリティ面の管理に手間取った
- 9. その他(※具体的な内容を次の設問にご記載ください)
- 10. 特になし

Q12

前問で挙げていただいた、本プログラムでの研究開発の実施中、特に苦勞した点について、具体的に教えてください。(任意回答)

回答対象者: 全員

Q13

本プログラム採択時に本プログラムに期待されていたこと、実際に参加されてお感じになった本プログラムならではの意義について、それぞれ当てはまるものを全てを選択してください。(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

	採択時に期待したこと ↓	参加されて実際に感じた 意義 ↓
他の国等の研究開発資金では採択されにくいテーマに挑戦できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スモールスタートのチャンスを得ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
研究開発の試行錯誤によって技術的な実現性に見通しを立てられる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
市場の探索研究を通じて市場ニーズを発掘できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
産学連携・共同研究のハードルを下げる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
企業等が高い本気度で産学連携・共同研究に臨む	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
研究開発推進委員会等を通じて産学官で密なコミュニケーションを取れる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新たな学術研究領域や研究者コミュニティの創出	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	(具体的に: <input type="text"/>)	(具体的に: <input type="text"/>)
特になし・いずれも当てはまらない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

回答対象者: Q1現在において「2 研究段階」～「5 上市段階」を回答した方のみ。

Q14

今後、本プログラムで行った事業の社会実装に向けて、その具体化や早期化のためにNEDO等に支援して欲しいことがありますか。当てはまるもの全てを選択してください。

また各項目について、具体的な支援策のイメージがある場合は、その内容をご記入ください。(必須回答)

支
援
策
イ
メ
ー
ジ

- 1. 研究開発/実証への継続的な資金獲得
- 2. 知的財産権の取得
- 3. (製品の、製品仕様の)標準化・規格化
- 4. マーケティング(市場動向、製品化動向等)
- 5. 他機関とのアライアンス
- 6. 製品展開先の発掘
- 7. 特になし

Q15

本プログラムを知ったきっかけについて、最も当てはまるもの1つを選択してください。(必須回答)

- 1. NEDOからのメールマガジン、メーリングリストなどの通知
- 2. NEDOホームページ
- 3. 関係機関・団体からのメールマガジン、メーリングリストなどの通知
- 4. 関係機関・団体のホームページを見て
- 5. NEDO・経産省が開催した個別説明会や打ち合わせ
- 6. NEDO・経産省の報告会や展示会
- 7. 知り合いの研究機関や企業等からの紹介
- 8. その他(具体的に:)

回答対象者: 全員

Q16

本プログラムの満足度について、最も当てはまるもの1つを回答してください。(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

- 1. 満足
- 2. どちらかといえば満足
- 3. どちらかといえば不満
- 4. 不満

回答対象者: 全員

Q17

本プログラムにおける、研究開発テーマあたりの事業規模(年間上限金額)について、最も適切だと思われるものを1つを回答してください。
(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

- 1,000万円未満/年
- 1,000万円以上 2,000万円未満/年
- 2,000万円以上 5,000万円未満/年
- 5,000万円以上 1億円未満/年
- 1億円以上 2億円未満/年
- 2億円以上/年

回答対象者: 全員

Q18

本プログラムにおける、研究開発テーマあたりの事業期間について、最も適切だと思われるものを1つを回答してください。
(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

- 半年程度
- 1年間
- 2年間
- 3年間
- 4年間
- 5年間以上

回答対象者: 全員

Q19

本プログラムに対する意見や改善すべき点、その具体的な改善策等について教えてください。(任意回答)

※特に事業規模(年間金額)や事業期間以外に関するご意見や改善すべき点があれば、ご意見をいただけますと幸いです。

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

回答対象者: Q1現在において「2 研究段階」～「5 上市段階」を回答した方のみ。

Q20

本プログラム修了後、本プログラムで行った事業成果が貴機関あるいは他機関に及ぼした影響がありましたら、当てはまるもの全てを選択してください。(必須回答)

	自機関 ↓	他機関 ↓
新ビジネスの創出や売上向上、経費削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
省エネルギー／CO2排出削減効果	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
環境保護(環境保全、資源保全、廃棄物削減など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他(※具体的な内容を次の設問にご記載ください)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

回答対象者: Q1現在において「2 研究段階」～「5 上市段階」を回答した方のみ。

Q21

前問で挙げていただいた、本プログラムで行った事業成果が貴機関あるいは他機関に及ぼした影響について、具体的に教えてください。なお、定量的な数値が不明な場合は、数値は未記入でも結構です。(任意回答)

	自機関への影響 ↓	他機関への影響 ↓
1. 新ビジネスの創出や売上向上、経費削減		
製品／サービス名 【記入例】 (自機関の場合)販売した製品など (他機関の場合)販売した部品を組み込んだ製品など		
販売先の具体的な業種 【記入例】 (自機関の場合)売上があった業種全て (他機関の場合)売上向上につながった業種のみ		
販売対象地域 【記入例】 (自機関の場合)販売した地域全て (他機関の場合)売上向上につながった地域のみ		
売上 【記入例】 20xx年 ○○円		
経費削減となった事項		
削減金額 【記入例】 20xx年 ○○円		

	自機関への影響 ↓	他機関への影響 ↓
2. 省エネルギー／CO2排出削減効果		
省エネルギー効果 【記入例】製品あたり〇〇%削減		
製品の販売による日本・世界全体での効果 【記入例】〇〇MJ／年		
効果の算定方法 【記入例】製品の販売数×製品あたりの省エネルギー効果から算定		
CO2排出削減効果 【記入例】製品あたり〇〇%削減		
製品の販売による日本・世界全体での効果 【記入例】〇〇t-CO2／年		
効果の算定方法 【記入例】製品の販売数×製品あたりのCO2排出削減効果から算定		

	自機関への影響 ↓	他機関への影響 ↓
3. 環境保護(環境保全、資源保全、廃棄物削減など)		
環境保護効果の内容 【記入例】大気汚染、資源削減、廃棄物削減 等		
製品あたりの環境保護効果 【記入例】〇〇%削減、〇〇kg削減 等		
製品の販売による日本・世界全体での効果 【記入例】〇〇削減単位／年		
効果の算定方法 【記入例】製品の販売数×製品あたりの環境保護効果から算定		

	自機関への影響 ↓	他機関への影響 ↓
4. その他		
その他特筆すべき影響 【記入例】自機関・他機関の意識向上、対外PR効果、貧困・不平等対策、健康・福祉向上など		

回答対象者: Q1現在において「2 研究段階」～「5 上市段階」を回答した方のみ。

Q22

2022年2月にNEDO新領域・ムーンショット部の成果報告会が開かれ、ここで先導研究の事例ご紹介ができればと考えております。こちらへのご参加の可否について、ご回答ください。(必須回答)

- 1. 可能
- 2. 不可
- 3. その他(具体的に:)

ここからは、本プログラムにおける公募プロセスに係る課題の特定とその改善に活用することを目的とし、過去の応募プロセスで皆様がお感じになった課題や課題を克服するために受けた支援・助言等の状況について教えてください。

回答対象者: 全員

Q23

本プログラムに応募する上で、所属組織のリサーチ・アドミニストレーター (URA) や産学連携部門、経営企画部門等から支援や助言等を受けましたか。

支援や助言を受けた部門等について、当てはまるものを全てをご回答ください。(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

- 1. 大学・公的研究機関等のリサーチ・アドミニストレーター (URA)
- 2. 大学・公的研究機関等の産学連携部門
- 3. 大学・公的研究機関等の技術移転機関 (TLO)
- 4. 大学・公的研究機関等の研究支援部門
- 5. 企業等における研究開発の企画部門
- 6. 企業等における経営企画・管理部門
- 7. 過去に本プログラムに応募・採択された実績のある研究者
- 8. その他(具体的に:)
- 9. 支援や助言等は受けていない

回答対象者: 全員

Q24

過去の本プログラムへの応募プロセスの中で皆様がお感じになった課題や困難等について、当てはまるものを全てをご回答ください。(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

- 1. NEDO事業に応募すること自体に抵抗感があった
- 2. 本プログラムの存在を知らなかった・認知していなかった
- 3. 本プログラムの公募予告や公募情報等を常に把握できていなかった
- 4. 本プログラムがどういった研究開発制度なのか把握していなかった
- 5. 応募に必要な書類を揃えることが困難であった
- 6. 応募に当たって所属組織の承認・決裁等を得ることが困難であった
- 7. 申請書の中身(適切な研究開発目標の設定等)を記載することが困難であった
- 8. 本プログラムの応募要件である産学連携体制を構築することが困難であった
- 9. その他(具体的に:)
- 10. 特に感じた課題や困難等はなかった

回答対象者: Q17で「1.」～「9.」を選んだ方のみ。(選んだ選択肢のみ表示)

Q25

前問で挙げていただいた課題や困難等を克服するために、所属組織のリサーチ・アドミニストレーター(URA)や産学連携部門、経営企画部門等から支援や助言を受けましたか。

支援や助言等を受けた課題について、当てはまるもの全てをご回答ください。

また、支援や助言等を受けられると良かった課題についても、当てはまるもの全てをご回答ください。(必須回答)

※昨年度ご回答いただいた方は、昨年度の回答を事務局で事前に入力しておりますが、適宜、ご変更いただけますと幸いです。

	支援や助言等を受けた課題 ↓	支援や助言等を受けられると良かった課題 ↓
NEDO事業に応募すること自体に抵抗感があった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
本プログラムの存在を知らなかった・認知していなかった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
本プログラムの公募予告や公募情報等を常に把握できていなかった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
本プログラムがどのような研究開発制度なのか把握していなかった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
応募に必要な書類を揃えることが困難であった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
応募に当たって所属組織の承認・決裁等を得ることが困難であった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
申請書の中身(適切な研究開発目標の設定等)を記載することが困難であった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
本プログラムの応募要件である産学連携体制を構築することが困難であった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他(q17_9_1faの回答)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>